

☆☆第2次鹿屋市総合計画 基本目標・基本施策等に対する自由意見☆☆

基本目標4 未来につながる住みよいまち

【基本施策】①快適な生活基盤づくりの推進

②安全で安心な生活の実現

③自然環境にやさしいまちづくりの推進

年齢	基本目標4(自由意見)
10歳代	コンパクトなまちづくりは、かなり重要だと思うし、関心があるので期待したい。
10歳代	避難訓練を実施することで、いざという時に対処しやすくなる。
10歳代	志布志などの地域に比べると高校生の3キリ運動の認知度は低いのかなと思うがとてもいい事だと思う。
10歳代	ぜんぜんコンパクトではないと思った。中心部はシャッター街だらけ。もっと高いビルを建てて中心部っぽくしてみるべき。
20歳代	スタバが欲しい。
20歳代	大崎町のように、もっとリサイクルに力を入れて、市民に利益が還元されるようなシステムを作ってほしい。
20歳代	食べ放題(バイキング)があるお店に、「食べきれぬ分だけお取りください」と張り紙があるのが3キリ運動を意識していてとてもいいなと思いました。
20歳代	ゴミ袋が高すぎて、指定のゴミ袋で出す人が少なくなっている。無料化にしているが、進んでいるのか分からない。
20歳代	災害を減らしたい為。
20歳代	コンパクトのまちは便利そうだが、冠水の問題、朝夕の渋滞の問題を解決しないまま進められないと思う。
20歳代	上記の通り、鹿屋市は治安も良く買物などをするにも生活必需品を集めやすい土地ではあるだろう。しかし、それは車を運転できる事が条件に出てしまっている点が後々問題となり得るだろう。既存の公共交通機関の強化に加え、何かしらの補助が行えればより良くなると思われる。
30歳代	土地が余っていることから、コストコを誘致できないか。鹿児島全土または宮崎からも大勢の人がくると思う。買い物ついでに鹿屋で遊んでもらえるような街づくり。
30歳代	防災フェスに参加したが、また参加したい。
30歳代	鹿屋に住んでいて困るのは医療であり、内科はたくさんあるが、産科、耳鼻科、眼科の体制が不十分。高齢者にとって、車がなくても買い物や通院ができる、やさしい町になってほしい。
30歳代	去年、台風14号が来た際、避難したいと思ったが近くの避難所が開設されていないことや、避難所自体の老朽化が気になった。生ごみコンポスト等の補助があればいいと思う。
30歳代	防災フェスに参加したが、子どもと楽しみつつ学ぶことができた。
30歳代	合併したからなのか、地元での催しが減った。イベントの開催地が市内の遠くなると交通の便が不便になり行きたくてもいけない。最近、かのやライフというアプリをダウンロードしたので活用中。たまにはアプリクーポンください。
30歳代	東日本大震災の被災者であり、全くと言っていいほど鹿屋中にある店などではマニュアルが作成されていない。ホームセンターで買い物をしているときに地震があったが、店員はオロオロするばかりで客への声掛けもなく、安全確認すらされなかった。今のままでは震災があった時は、死者が増えてしまう。
30歳代	コンパクトなまちづくりは、郊外の地域を置き去りにしないようにしなければならない。防災フェスは良いが、心肺蘇生訓練など、もっと参加しやすく身近なものにした方がよい。(広告など積極的に)3キリ運動は知りませんでした。

年齢	基本目標4(自由意見)
30 歳代	3キリ運動を市民一人ひとりに意識付けてほしい。保育園か小学生など早いうちに教え込んでほしい。
30 歳代	コンパクトシティは、中心部は可能だと思うが、それ以外は車が必要になる。避難訓練などは、町内会単位でしているのか、祭りなどのブースだけではないのか。ゴミステーションに生ごみを捨てるバケツがあるのは知っているが、利用したことはない。
30 歳代	街から離れると病院や買い物がしづらいのでお年寄りの免許返納が進まない。高齢の免許所持が多い。
30 歳代	大型ショッピングモールやコストコが出来れば、鹿屋内の買い物で満足出来そうです。ある程度買い物が出来る環境を整えば、若い層で住みたいと思う人も増えるのではと思う。
30 歳代	イベント参加は楽しみながらできるし、いざというときにも対応が出来るので、いいと思います。
30 歳代	いざ何かあった時に備えができ、助け合える関係性を築いていける市に期待しているから。
30 歳代	将来、地震等の災害は必ず起こると思うので、ハザードマップや備蓄品、基本知識を住民に広く周知してほしい。現在、ネットで調べようと思えば、調べられるが、それでは多くの人は知識不測のまま。
30 歳代	自衛隊で働く以外で若い人が働く当てのないこの町に未来への希望などない。
30 歳代	ハザードマップによると水害の恐れがある地区に新築の家が建ち並んでいくのは、市として何か取り組めないのか。災害対策や被害支援に投じられるのは税金である。
30 歳代	ペットボトルを回収してくれるところが少ない。
40 歳代	自家用車がないと生活できないところが不便です。小さいバス、ワンボックスカーなど週2日でもいいので、高齢者が利用できるように考えてほしい。お買い物や通院が大変そうである。住みやすいまちになってくれると、自分が高齢になった時安心して暮らせると思う。
40 歳代	出前講座など、学ぶ機会があったら学びたい。
40 歳代	コンパクトなまちづくりはどうかと思う。地震や災害のリスクに備えるためには、都市機能を分散させて、協力し合える体制を作っておくべきです。大型のショッピングモールもいいですが、小売店が儲かるように考えたい。儲かることで仕事が増える。利便性を追求しすぎて、仕事もなくなっているのではないのか。公務員や教員を増やしてほしい。
40 歳代	予算さえ通れば簡単に済むことだから、期待できる。
40 歳代	都市機能も大切であるが、自然を残すなど地方の良さを大切にしたい方がよい。
40 歳代	コンパクトで快適なまちづくりに期待したい。子どもを産み育てるために必要なケアできる場所、病院、クリニック（不妊治療）、産婦人科、小児科などがあるといいと思う。
40 歳代	鹿屋市は税金が高い。
40 歳代	買い物はある程度は問題ないけれど、ちょっとしたものは買えないので不便。今はネットでなんでも買えるけど、直接見て買い物したい。10年前よりは多少マシになったと思うが、利便性と言うほどではない。若者は気の毒だと思ってしまう。流行り物は鹿児島市までいかないといけいではない。病院はたくさんあるが、ちょっとした手術などは都城や鹿児島市へ行かないとできないらしい。病院の数があればいいわけではない。高齢になって運転にリスクが出た時、公共交通機関があまりないこのあたりで、免許証を手放す覚悟ができるのか、ずっと不安。我が子も、高校はいいとして大学や専門学校はよそへ行かないといけい。精一杯親として

年齢	基本目標4(自由意見)
	頑張るが、一人暮らし必須だと思うと親はみんな命懸けでは。さらに雇用を考えると、子が帰ってくると思えない。それは個人で選べば良いが、結局若者がいないままの地域になる。非常に頭の良い若者が、鹿屋市で将来頑張ろうと思えるのか…。
40歳代	障害や、健康な方が、共に暮らせる社会になれば良いと思う。
40歳代	高齢者や子供世代ではなく、独身者や働く人にも優しい地域にして欲しい。
40歳代	コロナで人が集まることができなかったので、これからはいろんな催事や、住みやすい街をアピールして欲しいです。そのためには駐車場の確保など鹿屋は車がないと生活できないので考えて欲しいです。
40歳代	高齢者の多い町であることから、コンパクトシティは必要なことである。医療だけでなく、日常的な買い物など、もっと便利になって、高齢者にも住みやすい町になってほしい。
40歳代	町内会運営はありだが、町内会未加入の方へのゴミの分別徹底の周知が必要。
40歳代	学校教育で自然体験学習を充実させ、防災教育とからめて学べる場を作れたら良い。火山のある地域として地震や大雨に遭った時に自分で考え行動出来るサバイバル能力を持てるようになれば良いと思う。
40歳代	未来を見据えたまちづくりでしたら、今の若者が鹿屋に残りたいと思わせる魅力あるまちを創るべきですよ。このままでは人口は減り活気のないまちへと進みます。
40歳代	コンパクトCITY構想での特化が課題だと思います。
40歳代	リサイクルなどに拘り費用が嵩むようであれば、リサイクルなど辞めて市民の利便性に特化した方が人口増につながると思う。また、ゴミ捨て場の管理を町内会に任せるのは辞めていただきたい。町内会・自治会には法律上の加入義務はないにも関わらず、町内会に入っていないからゴミが捨てられないという話も聴く。等しく市に税金を払っているのだから、市は責任持ってごみ処理をすべきだと思われる。この件はリサイクル以前の問題で、新規者が住み着かない原因の一つになっていると考えると。
50歳代	買い物するお店が少ないが、1か所で物をそろえたい。
50歳代	鹿屋には閉店している店舗が多数あることから、有効活用を検討してほしい。
50歳代	電池や電球なども分別して、ごみ指定場所に捨てられたらいいと思う。小型家電ももっと分かりやすく、資源の日に捨てられるといい。
50歳代	コンパクト外への住民の対応は。市中心部だけの対応かと。交通手段も検討してほしい。
50歳代	ごみの分別やリサイクルなど工夫されていると思います。最近、木の伐採など暗かった場所も明るくなってきているので、自然に影響のない範囲で進めてほしいです。
50歳代	車のない高齢者の為に通院しやすいように、通院しやすいよう、病院までのバスなどもっと充実してほしい。
50歳代	ゴミ出しルールの徹底と周知に努め、まじめに取り組む人が不快な思いをしない工夫が欲しい。
50歳代	鹿屋市アプリの防災マップが分かりやすく素晴らしい。
50歳代	燃えるゴミなど区分が大雑把で、ありがたい反面、全部燃やすのかと思うとカーボンニュートラルなど心配もある。
50歳代	そもそも大したイベントを誘致できていない。リサイクルをトップダウンで進めても実践する者がどれほどいるかが問題。
50歳代	宅地や商用地がなく、旧市街地が寂れている。
50歳代	快適な居住環境の形成を図るため、効率的なインフラ整備を期待したい。

年齢	基本目標4(自由意見)
50歳代	札元、寿近辺の道路の幅が狭いが、どうにかならないものか。
50歳代	ぜんぜんコンパクトではない。市役所、警察等、あちこちに離れ過ぎて手続き等が大変。
50歳代	コンパクトシティ、鹿屋市のコンセプトを市民に知らせてもらいたい。そうすれば、みんなが鹿屋市に期待し楽しみにするから！
60歳代	生ごみポストを無料で配るべきだ。以前のものは、壊れたり割れたりしている。
60歳代	高齢化で車の免許を返納しても病院や買い物に困らないようにしてもらいたい。
60歳代	衣服など処分する品を無料リサイクルなど、持ち寄る施設がないのでしょうか。
60歳代	市中心部を離れると不便なことが多い。避難所のあり方として、高齢者にとって体育館などに薄いマットを敷いて1晩横になることは、大変つらいものであり、立ち上がることも一苦勞である。
60歳代	取組が実施されていることすら知らなかったが、市民に伝わっているのか。
60歳代	3キリ運動はどれだけの方がチラシを読んでいるのだろうか。チラシ配布だけでは、市の職員の顔や動きが見えず、声が届かない。
60歳代	ごみの減量は、袋がなかなか減らずに収集に来られる方は重たそうに運ばれている。みんなで頑張りましょう。
60歳代	鹿屋市は、海、山、平野、畑、田んぼに囲まれた素晴らしい所である。もっと素晴らしい鹿屋市にするために綺麗な町を目標にし、地域ごとに頑張れたらいいと思う。道路や排水路に投げ捨てられた空き缶やビニール袋、紙などとても悲しいです。個人としては捨てることはなく、出来る限り気づいたら拾うようにしている。ポスターなど掲示し、皆が同じ気持ちになればいいと思う。
60歳代	一人ひとりの心掛けが重要。
60歳代	生ごみのリサイクル事業をもう一度力を入れて取り組むべき。SDGsの中、市からの呼びかけや予算が少ないのでは。
60歳代	深く内容は知らない。安全で安心な生活の実現は、防災マップを見ると消防署や避難所自体が危険な場所にあたりする。今、この場所に越してきた時、実際防災マップを持って近くの避難所になっている所も訪ねて行った。近くの道路が水で溢れた所があった。これでは、避難そのものができない。西原に住んでいた時、家の30m手前まで道路水が溢れたため。
60歳代	以前、活気があったアーケード街のシャッターがほとんど閉まっていて何か寂しく感じます。
60歳代	災害発生時の停電期間が長い。電線にかかる木や雑木の点検、伐採を早めにしてほしい。
60歳代	車のある人は、買い物、病院等はすぐ行けるから良いですが、返納の方の多いなか、田舎になると不自由されてる方が多いのでは。近くに身内のいない方など、そのへんを考えてほしい。
60歳代	鹿屋市のゴミ袋は高いと思います。もう少し安くしてほしい。プラゴミが多すぎて週に2回収してほしいです。
60歳代	これから化学肥料が手に入らなくなってくるようですが、昔のように有機栽培や自然栽培による農業に戻り体にいい作物を作り学校給食や市民も安全な作物を取ることにより健康な体を作れると思います。私の同級生が無農薬、自然の物から作った有機肥料での野菜を作って売ってくれるのでその野菜を食べています。美味しく、安全なので野菜クズもスープに料理して捨てる所がありません。体調も良く一石二鳥も三鳥もいい事づくめです。鹿屋は休耕地もたくさんあるので市も推進して安心安全な作物を作って市民が食べられるように考えて貰いたいです。みんなが元気になれば医療費の削減にもなり元気なお年寄りも仕事ができる場も作れればと思います。アメリカやEU、中国さえも安全な作物に切り替えて

年齢	基本目標4(自由意見)
	いているのに日本はいつまでもアメリカから農薬、除草剤、化学肥料を買わされてガン患者は右肩上がり薬を飲まない人が少ない高齢者ばかりです。食の安全を考える鹿屋市に期待したいです。
60歳代	インフラ整備されたら期待できるかも。
60歳代	田舎は、子どもの声もご近所の姿も日ごろ見られない。
60歳代	基地のまちとして、住民を守るための戦争対策の取組。
60歳代	市内中心部だけでなく、吾平、串良、輝北、高隈のことをしっかり考えてほしい。
60歳代	ごみ収集も他市が行っている個別収集を行ってほしい。ごみの分別もできておらず、ごみ置き場にいつまでも放置してある。粗大ごみも鹿児島市や他市が行っているようなチケットを購入して、引き取ってもらう方法も必要。高齢者は粗大ごみを処分するには無理がある。
60歳代	コンパクトシティは夢物語。田舎をどうするのか。広い鹿屋市をどうコンパクトにするのか。環境美化は大切なことだが、鹿屋市は十分対策はできており、住民の意識もすでに高い。
60歳代	取組に賛同します。
60歳代	医療については、総合病院をつくるのが大事。
60歳代	買い物をわざわざ市外まで行かなくてもいいようにしてほしい。
60歳代	旧鹿屋市のリサイクル、ゴミ捨てなどの仕分けの意識が低いような気がする。
60歳代	スーパー等は、近辺にありほどほど充実している。
60歳代	ごみのばいすてが多い。市内の生活に関する交通環境。
60歳代	住民の高齢化が進んでおり市街地では食品の調達に苦慮している。移動販売車などの導入を推進すべきであると感じている。
60歳代	高齢者のため興味ありません。
70歳代	台風災害等起こると思うが、食料品の備え等いろいろ役立つことなど、分かっているようで分かっていないこともある。広報に入っているマップなど、時々見ているので、情報発信をお願いします。
70歳代	鹿屋基地の拡大防止や騒音防止等をしっかりやってもらい、静かな鹿屋市であってほしい。
70歳代	ごみ減量やリサイクルは、もっと地域住民が意識して取り組まなければならない。
70歳代	ゴミを減らすように家族で気を付けているが、もっと地域住民が意識しなければならない。
70歳代	さらに、住みよいまちを期待したいです。
70歳代	移住して2年間、コロナ禍で誰とも接触できなかった。
70歳代	市内(鹿屋)は、ゴミステーションが多いのに我々は車で1kmくらい。運転ができない世帯はゴミ屋敷に。本当、一番悩む。
70歳代	ゴミステーションの容積が小さく、いつもゴミがカラスに荒らされており、分別の徹底がされていない。
70歳代	機能集積は必要かもしれないが、中心から遠い人ほど、しかも高齢になれば生活しにくくなる感じがする。それをフォローするための工夫が公的にもないといけない。もっとリサイクルしやすい工夫を増やす必要がある。大崎町のようにはいかないかもしれないが、もっと、使用後の油なども、どこかに集めるところがあれば、持っていくという人も多いはずです。
70歳代	市営住宅には、生ごみ専用バケツがおかれていると聞きますが、寿地区はアパートやマンションも多くなりました。生ごみのバケツを置いてもらえればと希望します。

年齢	基本目標4(自由意見)
70歳代	固定資産税のほかに都市計画税も納めていますが、この税が何に使われているのか知りたい。ぜひ、広報誌でも取り上げてもらいたいです。
70歳代	自分で使用や食物のチリを区別して洗って選別したら、ゴミが減ると思います
70歳代	避難が必要な人、希望する人を事前に把握し、個別に対応する体制を作る。
70歳代	言葉だけの推進対策。
70歳代	医療体制の充実、生活環境(交通アクセス)
80歳以上	防災を充実させてほしい。
80歳以上	大きな災害が多くなるかもしれないため、市民の防災意識を向上させる取り組みが必要だと考える。
80歳以上	リナシティ周辺はきれいに整備されているが、向江町や共栄町などは河川敷が整備され40年から50年経過しており、土砂が溜まり、草も生い茂っていることから、台風時期になると川が氾濫しそうになる。ある市内のゴミステーションでは、ゴミの分別がされておらず、木材や自転車が捨てられ、生ごみも分別されておらず、収集の方も大変だと思う。町外の人が夜遅くに持ち込んできているようである。
80歳以上	各地区(町内会等)に徹底させれば、特に安全で安心な生活の実現や自然環境にやさしいまちづくりの推進は、十分期待できる。
80歳以上	特にイベント広場やリナシティなど通るといろいろな催しごとがなされていることがわかり、驚くことがあります。年寄りなどへの情報が届かないことが多いのでは？老人への呼びかけ行事がG・Gだけになっていない？老人会への入会勧誘をお願いしたい。必要外意見ですみません。